

# シエラレオネ、リベリア及びギニアを始めとする西アフリカ諸国で発生したエボラ出血熱対策のための緊急無償資金協力（概要）

平成26年8月15日  
アフリカ部アフリカ第一課  
国際協力局緊急・人道支援課

## 1. 案件概要

- (1) 供与先：世界保健機関（WHO）、国際連合児童基金（UNICEF）、国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）
- (2) 供与額：150万米ドル（約1億4,550万円）
- (3) 支援内容：疫学・検査、感染予防、医薬品供与、啓発活動分野等

## 2. 被害状況

### 【被害の現状（8月11日時点）】

発症者1,975名、死亡者1,069名（出典：WHO（8月11日時点））

本年2月以降、ギニア南部のマセント県、ゲケドゥ県で原因不明の熱病が確認され、3月21日、エボラ出血熱であると発表された。その後、首都コナクリ、南部のキシドゥグ県でも症例が確認され、8月4日現在、シエラレオネ、リベリア、ナイジェリア等にまで感染が拡大した。

・エボラ出血熱の発生が西アフリカで確認されるのはこれが初めて。また、エボラ出血熱の症例24件のうち、感染者が100名を超えたケースは6件のみ（過去最大死者数は280名）であり、今時流行は史上最大規模。

## 3. 我が国の支援

(1) 我が国は、本年4月ギニアにおける状況に対応するため、約52万ドルの緊急無償資金協力をユニセフを通じ実施。

(2) シエラレオネに対し、現在実施中のWFP経由栄養分や支援対象者を感染地域の母子に拡大（7月17日決定）。約5万7千ドル。

## 4. WHOとの連携

WHOからの派遣要請に基づき、リベリア及びシエラレオネに延べ3名の日本人専門家が派遣されている。

## 5. 各国の支援（8月11日時点）

シエラレオネ 米、英、独、中、韓、国際機関等。

リベリア 米、英、欧州委、国際機関等。

ギニア 米、仏、独等主要国、国際機関等。

（了）